

新たに3点が
市文化財に指定

5月8日、「木造南明禅師坐像」
「絹本着色南明禅師像」、「小松藩
大頭村庄屋佐伯家文書」の3点が
市の有形文化財に指定されました。

「木造南明禅師坐像」は、市内
北条の長福寺が所蔵しています。
長福寺中興開山である南明禅師の
木像で、禅師の生存中に作られた
ものです。像の胎内から発見され
た資料によって、1679年の制
作であるなど由来が明確であり、
保存状態も良好です。

「絹本着色南明禅師像」は、小
松町の佛心寺が所蔵しています。
南明禅師が佛心寺の開山でもある
ため、同寺に伝わったものです。
この絵も禅師の生存中に描かれた
もので、禅師自身が書き加えた賛
も入っています。佛心寺住職の絵
は何枚か残されていますが、その



絹本着色南明禅師像

中でも特に優れたものです。

「小松藩大頭村庄屋佐伯家文書」は、藩政時代に大頭村の庄屋を務めた、佐伯家に伝わるものです。子孫の方から寄贈を受け、現在、小松温芳図書館で保管されています。戦国時代末期から小松藩成立期まで、地域の支配体制の変遷がよく分かる史料が含まれています。専門家の評価も高く、当地方の歴史を研究する上で大変貴重な文化財です。

問合せ 市庁舎新館4階

社会教育課

TEL 0897-52-1628



木造南明禅師坐像



小松藩大頭村庄屋佐伯家文書(一部)

えひめ国体・えひめ大会に向け
アサヒグループから
協賛いただきました

5月9日、アサヒグループから
愛顧つなぐえひめ国体・えひめ大
会西条市実行委員会へ協賛をいた
だきました。

市役所で行われた贈呈式で、ア
サヒビル(株)四国工場の山口一
郎工場長は「お世話になっている西
条への恩返しとして協賛させてい
ただいた。協賛品を役立ててほし
い」と述べられました。

協賛いただいた品は、無料ドリ
ンクコーナーの実施など、えひめ
国体・えひめ大会でのおもてなし
に活用させていただきます。

えひめ国体・えひめ大会の開催
まであと2カ月。当市では六つの
競技が開催されます。市民総参加
で盛り上げていきましょう。



▲目録・感謝状を手にする山口工
場長(写真右)と玉井市長

市長と井戸端会議

市長が、市民の皆さんの声を直接お聴きします。皆様のご参加をお待ちしています。

■対象 市内各地域で活動する自治会などのグループや団体

(1グループ当たり30分から1時間程度)

■日時・場所

- 7月20日(木) 13時30分～ 丹原総合支所
- 7月21日(金) 13時30分～ 小松総合支所
- 7月26日(水) 13時30分～ 本庁
- 7月27日(木) 13時30分～ 東予総合支所

■参加方法

7月10日(月)までに本庁シティプロモーション推進課、または参加を希望される各総合支所総務課へ申し込みが必要です。

各場所3団体程度を予定。申し込み多数の場合は先着順。

■問合せ

○市庁舎本館4階
シティプロモーション推進課

TEL0897-52-1694

○各総合支所 総務課

※電話番号は10ページ参照